

尾張西支部

視察研修会

- 日 時：令和5年11月14日（火）
- 視察先：フルハシEPO（株）愛知第七工場
（半田市日東町4番53）
CEPO半田バイオマス発電所
（半田市日東町4番地の1）
知多南部広域環境センター ゆめくりん
（知多郡武豊町一号地11番地37地）
- 参加者：22名

尾張西支部（富田昭夫支部長）は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により、平成31年1月24日に開催された「施設見学会・新春初詣」以降、視察研修を見合わせておりました。

本年5月より5類感染症に移行したことから視察研修事業を再開し、愛知県下における資源循環への取組について知見を広めるため今年度は「視察研修会」を実施致しました。

はじめに「フルハシEPO（株）愛知第七工場」にて木質リサイクルチップについて説明を受け、工場内を見学しました。

同社は、解体業者より持ち込まれた家屋解体材や木製パレット等を、分別・破碎してチップ化し、燃料として使用します。年間約36,000tの木質バイオマス燃料を供給し、バイオマス発電所以外にも、製紙会社やバイオマスボイラーを保有する工場にて使用されます。

次に視察した「CEPO半田バイオマス発電所」は、（株）シーエナジーとフルハシEPO（株）が共



CEPO半田バイオマス発電所にて記念撮影

同出資し、平成29年4月に設立された木質バイオマスの発電事業です。

同発電所の特徴は、「木質バイオマス」である、建設廃材由来の木質リサイクルチップとパーム椰子殻を燃焼して発電を行っています。

発電能力は5万kW（発電端）、年間発電電力量は一般家庭約12万世帯分です。

各設備は、自然循環式水管ボイラー、異物に強いトラベリングストーカ炉、抽気復水式蒸気タービン、無触媒脱硝装置、排煙脱硫装置、バグフィルタ、冷却塔等であり、中央制御室にて発電所の状態を24時間監視しています。

最後に「知多南部広域環境センター（愛称 ゆめくりん）」を視察しました。同施設は、半田市、常滑市、南知多町、美浜町及び武豊町の2市3町の可燃ごみ、不燃ごみ・粗大ごみを安全に処理する施設です。熱回収施設には焼却炉が2炉設置され、1日に283tの可燃ごみを処理しています。

1日で多くの施設を視察し大変有意義な研修会となりました。



愛知第七工場内を見学



愛知第七工場にて記念撮影



ゆめくりんにて概要説明を受ける



ゆめくりんにて記念撮影